



県内初の枝もの用クロマツの出荷に向けた収穫作業の様子（株式会社南三陸Pine Pro）

新年のご挨拶 南三陸町農業委員会会長 遠藤重幸



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年をご家族おそろいで迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスにより、国内で緊急事態宣言やまん延防止等の重点措置がとられ、日本の至るところで外食や人流に制限がかかり、その煽りから米をはじめ、農産物の価格が下落し、農家も多大な影響を受け、実に大変な1年となりました。

農業委員会においては、昨年7月の任期満了に伴い、農業委員9名中、女性3名が農業委員に就任されました。このことは、県内の女性農業委員の割合でトップであり、農業委員会に新しい風を吹き込んでくれることを切に期待するところでございます。昨年の8月から11月にかけては、農業委員と農地利用最適化推進委員全員で町内全農地の農地利用状況調査を実施しましたが、多くの農地が利用されておらず、遊休化している現状を目の当たりにしました。農業委員会でもこの課題について検討してまいります。皆様の先祖代々の土地でもございますので、農地を次世代に残していくためにも、管理・作付けされますようお願いするものです。また、鳥獣被害で耕作を諦める方もおられるようですが、町では農地の鳥獣害対策として電気柵の半額助成制度もありますことから、有効にご活用いただければと存じます。

結びに、農業委員会ではこれからも遊休農地の発生防止や解消、意欲ある担い手への農地利用集積、新規農業者参入等の促進に取り組んでまいります。農地に関するお悩み等がありましたら、農業委員会、もしくは地域の農業委員や農地利用最適化推進委員にお気軽にご相談ください。

この1年、皆様が健康で輝かしい年になることをご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



令和3年 宮城県文化の日表彰式 ～産業功労で遠藤重幸会長が受賞～

受賞された遠藤重幸会長



11月1日(月)、仙台市「東京エレクトロンホール宮城」を会場に、令和3年宮城県文化の日表彰式が執り行われ、多年にわたり農地等の効率的な利用促進に努め、地域農業の振興に寄与した功績により表彰されました。

遠藤重幸会長は、平成8年7月から農業委員を務め、平成14年には会長に就任し、現在までの25年間で、町の農業振興を牽引されています。

第6回 宮城県農業委員会大会 ～永年勤続者表彰で元木幸雄委員が受賞～

受賞された元木幸雄委員



11月11日(木)、名取市「文化会館」を会場に、第6回宮城県農業委員会大会が開催され、町の農業委員として15年以上在職し、地域農業に多大に貢献された功績により「永年勤続者表彰」を受賞されました。

元木幸雄委員は、平成18年7月から農業委員に就任し、現在に至るまで地域農業の発展と後継者育成に尽力されています。

非農地証明について

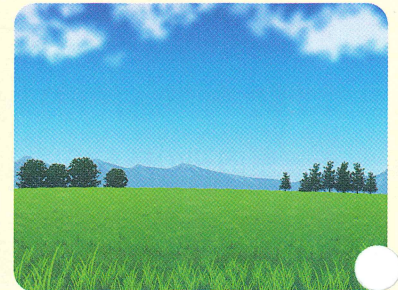
～山林・原野化している農地をお持ちの方はご相談ください～

非農地証明とは？

登記地目が農地(田・畑)で、現況が農地以外(山林や原野)になっている場合に地目を変更できる証明のことで、農業委員会に申請します。

登記の流れ

- ①法務局で非農地証明する農地の全部事項証明書及び字図の交付を受ける。
- ②農業委員会へ申請
- ③農業委員による現地調査及び書類の審査
- ④許可書発行(農業委員会総会を経て1週間前後かかります。)
- ⑤法務局へ登記(登記完了の期間は申請時に法務局にご確認ください。)



問い合わせ 農業委員会 ☎46-1378

鳥獣被害対策へのご協力

～みんなで鳥獣が寄り付きにくい環境づくりを～



問い合わせ 農林水産課農林業振興係 ☎46-1378

町ではニホンジカ、イノシシ、ハクビシン、ツキノワグマなどの目撃が多くなっており、農作物への被害も年々増加しています。これらの動物を呼び寄せる原因となる、放任果樹(柿他)、廃棄野菜などを放置せずに有害となる鳥獣が寄り付きにくい環境をみんなで作っていくことが大切です。

みんなで取り組む鳥獣被害対策の3つの約束事

- 1 果樹は放置せずにきちんと収穫しましょう！
- 2 不要な果樹はなるべく伐採しましょう！
- 3 野菜の残り渣(カス)は放置せず、埋めるなど適切に処分しましょう！

新体制となりました！

町農業委員会は、令和3年7月20日付けで新たな体制となりスタートしました。

農業委員9名、農地利用最適化推進委員4名、計13名（男10人・女3人）となりましたのでご紹介します。【任期は令和6年7月19日まで】

【職務代理】



阿部 博之
(7区)



鈴木 麻友
(3区)



元木 幸雄
(1区)

【最適化推進委員】



西城 光之
(3区)

【会長】



遠藤 重幸
(大久保)



阿部 勝吉
(大上坊)



及川 博喜
(田尻畑)

【最適化推進委員】

志津川地区



阿部 長喜
(泊浜)



阿部あい子
(払川)

【最適化推進委員】



千葉 善政
(中在)

歌津地区

戸倉地区

【最適化推進委員】



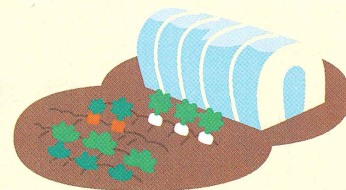
星 綾子
(西戸)



菅原 博文
(水戸辺)



阿部 俊幸
(西戸)



みんなで、読もう！ 全国農業新聞 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月700円（送料込み）
申し込み・問い合わせは、南三陸町農業委員会事務局まで【☎ 0226-46-1378 内線412】

町の農業者紹介①

「タデ藍の無農薬栽培」と「古民家民泊」で町を魅力化

～歌津 弘川地区 合同会社でんでんむしカンパニー 中村 未来(みく)さん～

歌津弘川地区で、天然の藍染栽培で遊休農地の利活用に取り組んでいる中村未来さんをご紹介します。

中村さんは、震災後移住され平成27年に藍染の染料となるタデ藍の栽培事業を開始し、平成29年には「合同会社でんでんむしカンパニー」を設立、以後、タデ藍の無農薬栽培及び加工販売、体験教室等を行っています。昨年は弘川地区の遊休農地(1,952㎡)にタデ藍作りの農地を借り受け耕作、作業場となるビニールハウスを設置し、4月には町から認定される認定新規就農者となり、勢力的に活動されています。

また、古民家を再生した民泊(一棟貸し及びホームステイ)も行っているとのことで、興味のある方は是非お電話をくださいとのことでした。

藍染体験・民泊の
問い合わせ 合同会社でんでんむしカンパニー
☎090-3846-7880



経営する民泊用古民家の前にて



藍作りのハウスを協力者と製作している様子

町の農業者紹介②

「枝もの用クロマツ栽培」で町に新たな園芸品目を

～入谷 大船地区 株式会社南三陸 Pine Pro 代表取締役 後藤 敏(さとし)さん～



育成する門松畑の前にて(志津川助作)



刈り取ったクロマツを束ねる様子

入谷大船地区で、枝もの用クロマツ(門松)の生産に取り組んでいる後藤敏さんをご紹介します。

後藤さんは、町内で菊を主に生産されていましたが、平成30年に菊の取引先である花き業者とクロマツ生産を検討し栽培を開始、日本のクロマツ産地である茨城県や秋田県の生産者の支援を受けて「株式会社Pine Pro」を設立しました。今年、生育4年目にしてようやく出荷可能となる「若松」を収穫し、宮城県内では初の枝もの用クロマツの出荷となりました。

今後は、現在作付けしている農地24,400㎡の更なる拡大に向けて検討を行い、宮城県の新たな園芸品目であるクロマツとして産地化に取り組み、町の農業後継者の確保や地域の雇用拡大に貢献していきたいとお話でした。

編集後記

明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ一辺倒で大変な1年でしたが、町の農業に目を向けると、上記2名(中村さんや後藤さん)の他、セリやイチジクなどで就農を目指したいという若い方々もあり、町の農業に明るい兆しが見え始めてきました。

私も地域の農業の後押しができるよう頑張っていきたいと思います。

(事務局：芳賀)

編集委員

委員長	阿部博之(入)
委員	星綾子(戸)
	阿部長喜(歌)
	阿部あい子(歌)
	阿部勝吉(志)
	鈴木麻友(入)
	元木幸雄(入)
	菅原博文(戸)

(順不同)